

3月定例議会 行政報告 (1)

平成25年3月定例議会は、2月22日に開会、3月7日までの会期で開かれました。議会初日には、行政報告と上程された各議案の大綱質疑、また2月26日、27日には一般質問が行われました。28日からは、各常任委員会で付託された議案を審議し、3月7日の最終日に採決が行われました。

総務部関係

■総務課

北秋田市民歌は、12月26日に市民歌制定委員会を設置して5人の方々から委員をお願いし、平成25年度中の制定に向け、歌詞の選定方法を検討いただいています。

防災、環境衛生面での問題が生じている空き家等の実態調査は、自治会・町内会のご協力をいただき実施しています。1月末現在で空き家等は639戸で、そのうち屋根、外壁のはく離等により周囲への影響を及ぼす恐れのあるものが116戸でした。調査結果は、空き家台帳を整備し関係各課で情報を共有することも今後の施策に反映させていきます。

■総合政策課

東京都品川区に本社のある会社から、脇神字高村岱地内の種苗交換会跡地にメガソーラー設置の計画が示

され、その事業概要について地域関係者への説明会を開催しました。

行政評価システム導入事業は、その基礎資料とするため、市民1500人を対象に「市民意識調査」を実施しています。また、行財政運営の健全化と透明性を確保するため「行政評価委員会」を設置することとし、3月の委員会開催に向け準備を進めています。

■内陸線再生支援室

平成22年の4者合意に基づく目標達成への最終年度を迎え、沿線地域の支援団体等の活動が活発化しています。1月10日には沿線地域の有志による「秋田内陸線と地域のかかわりを考えるフォーラム」が開催され、秋田内陸線と地域住民が一体となった支援の在り方や連携・協力について情報の共有化が図られました。



▲積極的に意見を交わした秋田内陸線と地域のかかわりを考えるフォーラム

財務部関係

■財政課

平成24年11月10日から平成25年1月31日までの工事等発注状況（500万円以上）は12件、契約額は2億1580万4千円です。

■税務課

平成24年12月末現在の市税等の収入状況は、収入済額29億8290万3千円で75・15%の収納率です。

市民生活部関係

■生活課

平成24年1月26日に開始した空間

放射線量の測定は、毎月測定を実施していますが、秋田県の通常レベル（0・02250・086マイクログシーベルト）を超える数値は観測されていません。今後も定期的な測定を継続し、結果を公表していきます。建替え工事が行われていた小森自治会館が、12月14日に完成し、地域コミュニティの場として広く活用されています。

1月12日、森吉コミュニティセンターにおいて、北秋田地区交通・防犯指導隊連合会安全祈願式及び観閲式を挙行了しました。

クリーンリサイクルセンターの平成24年4月から平成24年12月までのごみ搬入実績は、約9832トン（うち北秋田市分は94%、約9232トン）で、前年度に比較して267トンの増加です。また、ゴミの処理・分別について理解を深めようと、4月から12月まで小学校13校の245人の児童が、クリーンリサイクルセンターを見学に訪れました。

■市民課

一般旅券（パスポート）交付件数は平成24年11月から平成25年1月末で58件です。

国民健康保険のインフルエンザ予防接種は、1回1500円を接種回数分補助するもので、12月末現在で述べ949人へ補助しています。

健康福祉部関係

■福祉課

平成25年度の保育園入園申し込みは、公立7保育園477人（定員626人）、私立4保育園354人（定員360人）で、審査会により入所児童を決定しました。

児童手当2月定期払いは、対象者1831人に支給しています。

北秋田市ハートフル倶楽部は、12月8日大館能代空港ターミナルビルのレストランを会場に出会いのイベント「クリスマススカウントダウン2012」を実施し、19人（男性14人、女性5人）が参加しました。

障害者自立支援法による自立支援給付事業は、12月末現在で介護給付198人、訓練給付110人、自立支援医療536人です。地域生活支援事業は、日常生活用具の給付87人、コミュニケーション支援2人、日中一時支援28人、児童福祉法による障害児通所支援は24人の利用です。

障害がい者相談支援の拠点である障害者生活支援センター「ささえ」の1月末現在の延べ利用者は、来所8962人、訪問1438人、電話相談1293件で、精神障がいの方の利用が増えています。今後も関係機関や地域との連携を深め、事業の充実、拡大を図っていきます。



▲障害者生活支援センター「ささえ」で、お互いの悩みを語り合う利用者

■高齢福祉課

福祉の雪事業は、1412世帯（1月31日現在）が登録し、過去最高となりました。世帯の構成は、高齢一人暮らし896世帯、高齢者のみ457世帯、その他59世帯です。また、12月から1月上旬までの作業実績では、利用があった世帯は511世帯、延利用回数は3435件です。

地域支援事業における介護予防事業（通所型介護予防教室・訪問型介護予防事業）への参加者は1月末現在130人です。

包括的支援事業の総合相談は、12月末現在、延べ482件の相談があり、その内、権利擁護に関する相談は延べ79件です。

■診療所

市立3診療所の11月から1月までの外来患者数は次のとおりです。

阿仁診療所は、内科2492人で前年同期対比274人（9・9%）の減、外科2656人で前年同期対比32人（1・2%）の増、歯科680人で前年同期対比237人（25・9%）の減です。合川診療所は、2725人で、前年同期対比922人（25・3%）の減です。米内沢診療所は、内科4351人で前年同期対比837人（16・1%）の減、小児科717人で前年同期対比104人（17%）の増、整形外科918人で前年同期対比264人（22・3%）の減、脳血管外科296人で前年同期対比23人（7・2%）の減、心臓血管外科65人で前年同期と同数です。

■健康推進課

成人検診事業は、1月末現在の特定健康診査の結果、動機づけ支援対象者237人、積極的支援対象者78人で、特定保健指導実施者数は動機づけ29人、積極的支援7人です。

がん検診推進事業の無料クーポン券による受診は、乳がん194人、子宮頸がん112人、大腸がん404人、胃がん88人です。

介護予防ボランティア講座は全5回を終了し延べ参加者は47人、うち新規受講者の5人に認定証を交付しました。

生活習慣病予防事業のすこやか健康講座は、全5回予定しており、第



▲胃がんとがん患者のケアをテーマに開かれた第2回すこやか健康講座

2回までで177人の参加です。高齢者心の健康づくり、巡回健康相談「ホッとあい訪問」は、19集落の75歳以上の方753人を対象に11月から1月までの間、保健師が訪問しました。交流サロンは16会場で笑いのヨガ等を実施し185人が参加しました。3月には6会場で開催予定です。

12月末現在の予防接種の状況は、肺炎球菌ワクチン639人、インフルエンザ6500人、MR（麻しん・風しん）ワクチン770人の接種です。

平成24年度から回数を拡大し行っている子育てサークル「にじ色リボン」は、1月末で10回開催し、延べ353人の参加です。

12月末現在の献血実施状況は、成分献血42人、全血献血615人です。